

事 務 連 絡
平成29年7月28日

各都道府県トラック協会
専 務 理 事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
交通・環境部長 荻原正吾

ヒアリに関する普及啓発チラシの配布による 周知について（協力依頼）

平素は当協会の事業運営に種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

先般、国土交通省自動車局貨物課長より「外来生物の発見について（注意喚起）」（平成29年7月12日付け国自貨第46号）が発出され、注意喚起及び周知徹底方をお願いしたところですが、今般、国土交通省を通じて内閣官房より別紙の普及啓発チラシを配布し周知を図るよう依頼がありましたので、貴協会におかれましても本趣旨をご理解のうえ、傘下の会員事業者に対し、啓発チラシ（電子媒体）を活用し広く周知を図ってくださいますようお願いいたします。

なお、万一、疑われる事案に接した場合には、遅滞なく下記の関係官署に連絡くださいますよう、併せてよろしくお願いいたします。

（関係官署連絡先）

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

電話 03-3581-3351（代表）

※各地域に地方環境事務所が置かれています。

<https://www.env.go.jp/region/>

事 務 連 絡
平成29年7月27日

公益社団法人全日本トラック協会
交通・環境部長 殿

国土交通省自動車局貨物課
トラック事業適正化対策室長

ヒアリに関する普及啓発チラシの配布による周知について（協力依頼）

先般「外来生物の発見について（注意喚起）」（平成29年7月12日付け国自貨第46号）により、ヒアリの発見について注意喚起等を行ったところですが、その後7月20日に開催された「ヒアリ対策関係閣僚会議」では、関係省庁が協力しあらゆるルートを通じて国民への情報提供を行うことが確認され、昨日、内閣官房より関係省庁に対し、別紙の普及啓発チラシを活用し所管事業者への周知を図るよう指示がありました。

つきましては、傘下会員に対して別紙の普及啓発チラシ（電子媒体）を配布し、各事業所等へ広く周知を図っていただくようお願いいたします。

ヒアリに気をつけて



これまで存在していなかった危険な毒アリが国内で現れています。
もし発見しても、**決して触らないでください！**



ヒアリが作る大きなアリ塚



葉っぱ上のヒアリ

💡 大きなアリ塚が目印

日本のアリは、大きなアリ塚を作りません。
大きなアリ塚を発見したら、触らず、すぐに通報を。

💡 ヒアリかな？と思ったら

ヒアリのような蟻を見つけたら、自分で駆除せず、お近くの地方環境事務所か都道府県の環境部に通報を。

通報先 ●●県 環境部 (例：東京都 環境局)

検索

💡 もし、刺されて、少しでも異常を感じたら すぐに近くの病院へ。

アリに刺された旨を伝えて受診してください。
ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。

ヒアリ FIRE ANT

大きさ 2.5mm~6.0mm

- 特徴
- カラダは赤茶色
 - 腹部に2つのこぶ
 - お尻に毒針

刺されると、強い痛みを伴いアレルギー症状がひどくなると重症化することも。

ヒアリに関する情報

ヒアリの発生場所も確認できます

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

(環境省ホームページ)



ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、各地で見ついています。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見ついています。



特徴

- ・ 体長は 2.5mm～6.0mm ほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

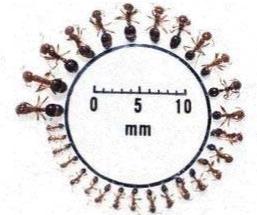


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは 2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm 以下の小さなアリ、6.0mm 以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

お願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団にいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリの駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。